

千葉地区会地区会だより  
歓送迎号

令和3年度 Vol.1  
発行年月日：2022年5月20日  
発行：国臨協関信支部 千葉地区会  
発行責任者：後藤 美樹  
編集者：知久田 瞳 舟木 恵



コロナ禍となり、3度目の春を迎えました。皆様におかれましては、送別会・歓迎会を行うことが出来ずに、仲間との出会いと別れを繰り返していることと思います。今回も、紙面上ではありますが、皆様との交流の場を持たせたいと考え、千葉地区会地区会だより～歓送迎号～ を発行致しました。

## 会長挨拶

千葉東病院  
後藤 美樹



本年4月1日付で国立病院機構千葉東病院 臨床検査科臨床検査技師長として着任し、千葉地区会の会長を務めさせて頂くことになりました後藤美樹です。前会長の会田技師長が当施設での退官のため、引継ぎをいたしました。若輩者でまだまだ未熟な点が多々あるかと思いますが、精一杯務めさせていただきます。いままでと変わらぬご理解とご協力をいただけますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、千葉地区会に所属させていただくのは3回目です。東京生まれ東京育ちの江戸っ子なのですが、ご縁があり初めての所属は千葉地区会でした。当時、会員の皆様と親睦を深めた思い出が数多くあり懐かしく思います。しかし現在は、コロナウイルス感染拡大の影響から学会など、集合型開催が困難となり3年目となりました。会員の親睦を深める目的である千葉地区会も紙面での交流となり、皆様にお目にかかれぬのが非常に残念に思います。一刻も早い終息を願うばかりです。コロナ渦で、できることは限られてくると思いますが、お役に立てるよう努力していく所存です。諸先輩方にはご指導くださいますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。



## 退官の挨拶

千葉医療センター  
林 亮



東京ディズニーランドが開園した1983年、国立国府台病院（現、国立国際医療研究センター国府台病院）に入職して以来、

千葉県内の施設では4施設（国府台、千葉東、下志津、千葉医療）、大凡15年間働かせていただきました。千葉地区会員の方々の中にも、一緒に働いた仲間が大勢おられますが、公私にわたり大変お世話になりました。直接お会いしてお礼を申し上げるべきところですが、このご時世ですので紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、千葉地区会では、ハゼ釣りやビール工場見学、プロ野球観戦などのレクリエーションおよび総会後の懇親会で盛り上がった事が思い出されます。また、千葉地区会はとても明るい雰囲気印象的で、会員相互の繋がりも深かったように思います。かなり以前には大型自動分析装置の共同利用（例えば、下志津病院で他施設の生化学検査を実施するなど）を行っていたこともあり、施設間の連携についても強い印象がありました。試薬が枯渇した時に隣施設に助けていただくなど、改めて良い関係であったと思います。これからも楽しい雰囲気そのままに、会員相互、施設相互の良い関係を継続していただければ幸いです。施設の思い出では千葉東病院での検査科旅行でしょうか。今では考えられないと思いますが、臨床の先生方に旅行中検査を出さないようお願いをして、実習生を含む検査科全員で一泊旅行に出かけていました。若い会員の方々からは悲鳴が聞こえてきそうですが、私にとっては貴重且つ楽しい思い出となっています。定年後については再雇用制度を利用し、引き続き千葉医療センターで働かせていただきます。千葉医療にお越しの際には是非お声かけください。

最後になりますが、コロナ禍の終息が見通せない中、今後もwithコロナでの日常になるかと思えます。会員の皆様には“健康第一”に、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。





千葉東病院  
会田 春光

私の千葉地区会との付き合いは平成9年7月に今はなき習志野病院へ主任として赴任して以来、途中9カ月ほど東京に通いました

が、24年になります。国立病院の職員として働いたのが36年なので3分の2は千葉地区会で過ごしたことになります。千葉地区会では習志野、(小児)、千葉、千葉東、下総、千葉東と4施設でお世話になりました。中でも千葉東病院には主任時代と技師長時代の9年間在職し、自身の趣味であるランニングチームを作り、様々な大会にチャレンジできたことが、一番の思い出です。



現在、コロナ禍にあり、その当時のメンバーもいなくなり、ほぼ解散状態ですが、また、懐かしいメンバーで集合できる日が来ることを待ち望んでいます。地区会活動としては、ビール工場、野球観戦等の文化活動と称される懇親会が毎年の楽しみでした。千葉地区は施設数も多く、毎回60名以上の参加があり、盛大なものでした。この会を通して懇親を深めることにより、施設間の情報交換がスムーズになり、異動などの際にも、知った顔があり安心できるものになっていたのではないかと考えています。私は任期途中で交代となりますが、千葉地区会会長は施設輪番制に従い千葉東病院臨床検査技師長が任務を引き継ぎますので、よろしく願いいたします。今後の千葉地区会の益々の発展を祈念して定年退職のご挨拶とさせていただきます。



下志津病院  
舘野 直道

3月31日付で定年退職を迎えることになりました。3年前に下志津病院に配置換えで赴任した年には、東京ドームでの野球観

戦、交流会、地区会研修会、総会と参加することができ楽しく親睦の時間を過ごさせていただきました。最後の2年間は新型コロナウイルスに伴い対面での諸々の地区会活動ができなくなり、今まで関わって下さった方々に感謝とお礼を直接お伝え出来なかったことが、心残りです。この紙面をお借りして長きにわたりお世話になり、心より感謝申し上げます。

退官にあたり懐かしい写真があれば添えて一言と理事さんから伺ったので、アルバムを探してみると35年前の下志津病院賃金職員時代の1泊2日の職員旅行、相模原病院時代の県下国立病院スポーツ大会ソフトボールチーム、全医労神奈川地区バレーボール大会の写真がありました。今はなき古き時代の青春の思い出ですが、当時は他部門の方々と交流を図ることができ楽しい一時でした。これらの行事を通して職員間の連帯感が育まれていたと思います。現在のコミュニケーションツールとは違いがありますが、各施設において臨床検査技師がチーム医療の一員とし一翼を担い、また地区会においても施設間の交流が活発に行われることを祈願しています。



## 退職の挨拶

下志津病院  
吉田 奈保子



早いもので千葉東病院に入職して11年、その後下志津病院で4年、合わせて15年間、国立病院機構にお世話になりました。出産を機に仕事から離れ専業主婦だった

私には、知らない事や忘れていた事がたくさんあり、仕事を丁寧に教えてくださった千葉東病院の皆様にはとても感謝しています。また下志津病院では、若い方たちから多くの刺激を受け、楽しく充実した日々を過ごさせていただきました。

非常勤だったので、当初は千葉地区会に入会するつもりはありませんでしたが、働いて長くなると交流を広げたいと思うようになり2019年に入会させていただきました。5月にはプロ野球観戦があり、野球観戦ももちろん面白かったのですが、それ以上に、野球場やその後の懇親会で皆様とお話してきたことが嬉しく楽しかったことを覚えています。「来年は何だろう」と楽しみにしていましたが、コロナ禍で中止になってしまい大変残念でした。

4月からは出張健診の会社に勤めることになりました。新しい職場でも、努力を惜しまず、信頼を得ながらしっかりと仕事に取り組んでいきたいと思えます。

千葉地区会に所属していたのは短い間でしたが本当にありがとうございました。皆様お元気で、より一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



国府台病院  
梶原 弘通

国際医療研究センター国府台病院の梶原です。私は小児病院（現在の成育医療センター）⇒埼玉病院⇒横浜医療センター⇒千葉医療センター⇒東京病院⇒水戸医療センター⇒国府台病院と七つの施設にお世話になりました。千葉地区会には千葉医療センター勤務の平成20年1月から平成24年3月までと、国府台病院へ平成31年4月に赴任してから現在に至るまでの間、所属させていただきました。千葉医療センターへ勤務の頃は、現在のようなコロナ禍もなく地区会活動も盛んにおこなわれていたかと思えます。ビール工場への見学、その後の懇親会も良い思い出です。国府台病院へ赴任してからは、最初の年に千葉医療センターで行われた定期総会、勉強会、懇親会に参加させていただきましたが、野球観戦は宿直業務と重なってしまい参加できず大変残念な思いをしました。現在は皆さんも承知の状況となり、集合して何かを行うということもできず大変寂しく思います。このような状況がいつまで続くのか不安ではありますが、皆さん頑張ってください。それじゃあ、そういうことであとはよろしく。



## 退会の挨拶



旧：千葉医療センター  
新：箱根病院  
植松 明和

4月1日付で国立病院機構箱根病院に臨床検査技師長として転勤した、植松明和です。

千葉医療センターでは、検査科内はもとより他部門との交流も盛んで、みなさんに支えてもらったからこそ頑張ることができたと思っています。とくに検査科スタッフのみなさんには感謝しかありません。今まで働いた施設の中でも、検査科の雰囲気はこれほど良い施設はなかったと思います。一緒に働いたみなさんそれぞれの顔を思い浮かべると林技師長以外は笑顔の表情が浮かんできます。

さて、千葉地区会においては、この2年間、コロナ禍の影響により、みなさんと一緒にスポーツや飲み会などを通じ、コミュニケーションを取れなかったことがとても残念に思います。もっと交流し、私自身を知ってもらおうと共に、みなさんのことを知りたかったなと感じています。それでもまたどこかで一緒にの地区会になったり、一緒に働いたりする可能性もあるので、次回を楽しみにしておきます。

最後に千葉地区会幹事のみなさまにおかれましては、コロナ禍による活動制限がある中、とても大変だったことと思います。いろいろと気を配っていただき本当にありがとうございました。Web地区会を関信支部の最初に開催したこと、心より敬意を表します。千葉地区会に復帰した際にはまたよろしく願いいたします。



旧：千葉医療センター  
新：相模原病院  
岩崎 聖二

4月1日付で国立病院機構相模原病院に副臨床検査技師長として転勤した岩崎聖二です。1990

年に国立療養所松戸病院に入職して、千葉県一筋30数年。施設も松戸、がんセンター東病院、千葉医療センターと渡ってきました。松戸では、業務終了後、病理検査室に入り浸り、病理技師へのスタートの地でもありました。がん東でも、ほぼ病理一筋で、開院準備から始まり、唾えたばこで顕微鏡に深夜まで向き合い、最後はNEXT棟への移転と運用が概ね安定するまで携わり、激流を下るラフティングの様に楽しく、時に溺れそうになりながら過ごしてきました(色々あり過ぎて書けません)。ここでの経験や大切な仲間との出会いは、私にとって大変貴重な時間になりました。千葉医療では、がん東とは全く違う病院文化に戸惑い、危うさを感じた為、せめて病理検査室だけほしい、SOPの全面改訂とIS015189風の業務管理に取り掛かり、意味の解らない古き悪しき事と物を止め、スッキリさせました。一緒に取り組んだ千葉医療の仲間、いつも夜遅くまで頑張ってくれたがん東の仲間。感謝しかありません。最後に、いろいろ頑張っている皆様に、“頑張り過ぎないでがんばって!”私も未開の地“相模原”で頑張ります。それではまた逢う日まで。



旧：国立がん研究センター東病院  
新：沖縄病院  
国仲 伸男

令和2年に国立がん研究センター東病院へ着任したその日から、新型コロナウイルス感染症対策に追われる日々が続きました。現在でも終息の目途がつかず、なかなか難しい状況が続いています。そのようなコロナ禍でも、国立がん研究センター東病院では、2021年7月にIS015189の更新審査を終え、同年11月に再認定されました。さらに2020年からCAP(米国病理協会)取得へ向けたキックオフミーティングを開始し、構築

へ向けた作業を続けてきました。2022年3月にはCGI(コンサルタント)の模擬査察を受けるまで進んできました。

予定通りにいけば、今年5月にCAPの査察、8月には認定取得となり、当院のビジョンでもある、「世界レベルの新しいがん医療の創出」に貢献することができ、もうひと踏ん張りで達成できるものと信じています。

千葉地区ではコロナ禍とあって会員の皆様と直接会って交流を深めることができなかつたのは残念に思います。今回、長く在籍した関信グループから九州グループへ異動しますが、同じ国立医療機関であることには変わりはありませんので、国病学会や他学会で皆様にお会いできる事を楽しみにしております。

最後になりましたが、千葉地区会員の皆様のご健康と地区会の益々のご発展を祈念いたしております。



旧：国立がん研究センター東病院  
新：霞ヶ浦医療センター  
中西 愛弓

2022年4月1日付で国立がん研究センター東病院より国立病院機構霞ヶ浦医療センターに異動することになりました中西愛弓です。常勤採用されてから7年間、国立がん研究センター東病院および千葉地区会に所属し皆様にご世話になりました。

国立がん研究センター東病院では新人技師として入職し、非常に多くのことを学ばせていただきました。超音波検査では多くのがん症例を経験し、カンファレンスでのプレゼン、専門学会で発表もさせていただきました。治験業務では試験開始前の調整から検査実施、結果の保管まで携わることで、治験業務の流れを理解することができました。

技師長をはじめ良き先輩、後輩に恵まれ、周囲の方々に指導、ご助言を頂きながら、充実した日々を送る事ができました。培った経験を次の施設でも活かしていきたいと考えております。

最後に千葉地区会役員ならびに会員のご健勝と益々のご活躍を祈念してお礼の挨拶とさせていただきます。



## 入会の挨拶

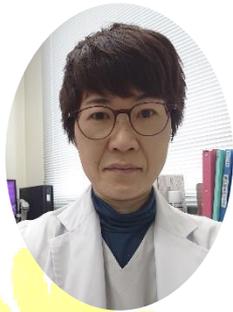


新：千葉医療センター  
旧：高崎総合医療センター  
藤本 敬久

4月1日付で高崎総合医療センターから千葉医療センターに赴任して参りました藤本敬久(ふじもと ゆきひさ)と申します。千葉医療センターは私にとって5施設目となります。技師学校卒業後、下総療養所(現 下総精神医療センター)で賃金職員として採用となり、その後新潟→茨城→群馬と勤務し、この度、再び千葉地区会でお世話になることになりました。赴任にあたり引っ越しのため荷物を整理していた所、各施設で撮った記念写真が出てきました。とても懐かしかったのですが、自身のこの約20年での体型変化に改めて驚きました。新採用時は結構スリムな体型でした。下総では初めての一人暮らしで食生活が乱れはじめ、新潟に赴任するとコメディカルの仲間たちと頻りに飲みに行くようになり、今思い返すと良くも飽きずに飲みに行っていたなと思うほどです。茨城ではラーメンにはまり、群馬でも変わらず暴飲暴食を繰り返し、比例するようにみると体重が増えました(+20kg)。そんなある日、床に落ちているゴミを拾おうとふとしゃがんだ瞬間に腰に電撃が走りその場に崩れ落ちてしまいました。ぎっくり腰だったのですが、動けない自分に非常にショックを受け、それ以来心を入れ替え摂生し、なんとか下総採用時の体型に戻すことができました。腰の調子も良いので、何とかこの体型を維持していきたいものです。

最後に、千葉医療センターの皆様には温かく迎えていただき感謝しております。頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。





新：千葉医療センター  
旧：霞ヶ浦医療センター  
草薙 真里

令和4年4月1日付で、茨城県の霞ヶ浦医療センターより赴任いたしました、草薙 真里と申します。

病理検査を担当させていただいております。こちらの施設では手術材料を生の状態から板に貼り付けをしたり、免疫染色を自施設で行う等、未経験の内容が盛りだくさんで、戦々恐々としています。また、20年ぶり位になると思いますが車通勤から電車通勤に変わり1日に千歩ぐらいしか歩いてなかったのが1万歩以上歩くことになり、足とお尻が筋肉痛の毎日です。さて、私事ではありますが家族についてふれたいと思います。同居していた母を4年前に、主人を2年前に、その2週間後に愛犬のポメラニアンを亡くしております。犬が亡くなったときには仕事から帰ってきても家の中がシーンとしてしまっていて、たまたま、1週間後にはペットショップで売れ残っていた立ち耳長毛のスコティッシュフォールドを買いました。お店の人から姉妹2匹で飼って欲しいとお願いされたので、「じゃあ、それで」という具合になり、今ではバタバタと賑やかに暮らしております。お陰様で趣味も増え、DIYでキャットウォークや爪とぎ用3段棚など作ったりしております。最後になりますが、千葉医療センターの方々温かく迎えていただき、感謝しております。病院や皆様に貢献できるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



新：千葉東病院  
旧：国立国際医療研究センター病院  
江口 千尋

この度、4月1日付で国立国際医療研究センター病院から千葉東病院に着任致しました江口千尋と申します。国立国際医療研究センター病院には6年間お世話になり、色々な方と出会い貴重な経験をたくさんさせて頂きました。

出身も東京、今までの職場もずっと東京で、千葉の

地で勤務するのは、社会人になってから初めてのことで、毎朝千葉駅の人混みに驚きながら通勤しています。学生の頃は、ラクロスをやっていましたが社会人になってからは、観戦の方がメインになってしまっています。最近ではオリンピックをテレビ観戦しながら、感動していました。日本開催のラグビーW杯以来、ラグビー観戦にもハマっています。今年は、応援側ではなく少しずつ自分も身体を動かしていかないと…と考えています。

また、食べることも好きなのでコロナの感染が落ち着いたら、千葉の美味しいお店を見つけていきたいです。おすすめのお店がありましたら、教えてください。不慣れですので、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。

皆様のお役に立てるよう、精一杯努める所存です。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



新：下志津病院  
旧：霞ヶ浦医療センター  
渡辺 力

4月1日付で霞ヶ浦医療センターより赴任してまいりました渡辺力(わたなべつとむ)です。

千葉県での勤務は初めてになりますので簡単に自己紹介をいたします。出身は、茨城県龍ヶ崎市です。下志津病院には車で通勤となりドライブ好きの自分としてはとても喜んでます。片道40km程の距離で約1時間の通勤をしています。通勤ルートに山道が幾つかあり、色々な場所の桜を眺めながら、これからの季節の移り変わりを感じることを期待しています。現在は下志津病院の暖かく気遣いあるスタッフの援助もあり何とか業務を行っております。

休日は娘が昨年よりボルダリング教室に通い始めたこともあり、帯同することが今では趣味になっています。龍ヶ崎市は東京オリンピックスポーツライミグ銅メダルの野口啓代さんの出身地でもあり、ボルダリングを楽しむ施設が多く存在し、日本代表選手の五輪最終調整や代表合宿が行われています。娘が簡単そうに登っている姿に触発され、いざ自分がやってみるとカラフルなホールド(突起物)は難易度別に使用されている色、形が区別され、単に頂上を目指せばよ

いと言うわけでもなく、ボルダリングシューズに関しても普段の靴より小さいサイズが目安になるため、つま先が適度に曲がった感覚がどうしても慣れずに早々と断念しました。最近ショッピングモールなどで体験することができますので興味のある方は、ぜひ行ってみてください。千葉地区会の皆様には今後ともお世話になる事が多々あると思いますが、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈いします。



新：国立がん研究センター東病院  
旧：国立成育医療センター  
田名後 和

4月1日付けで国立成育医療研究センターから国立がん研究センター東病院に異動となりました田名後 和

(たなご のどか)と申します。成育では生理検査を担当し、引き続き生理検査に配属となりました。小児病院からの異動で、患者の方の年齢層の幅が変わり、患者の方の対応や検査内容も今までと大きく変わりました。不慣れな事も多く、ご迷惑をお掛けする事があるかもしれません。1日も早く習得し、一つ一つ学んでいける様努めて参りたいと思っております。また諸先輩方様に迅速にかつ丁寧で的確な検査を心がけ、技術や知識を深めていきたいと思っております。

また今回の異動で地元を離れ、初めての千葉県での一人暮らしで不安や多少の寂しさも感じております。まずは自分の住んでいる周りから散策をはじめ、千葉の様々な場所に行き、良いところを発見し第二の故郷にできたらと思っております。最後になりましたが、至らない点も多くご迷惑をお掛けするかと思いますが、今後とも精進して参りますので、同センター東病院臨床検査部の皆様、また千葉地区会の皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお祈いいたします。



新：下総精神医療センター  
旧：東京病院  
仲間 盛之

桜満開の中、8年ぶりに千葉県の地に帰ってまいりましたNHQ下総精神医療センターの仲間です。

この下総の地は初めてではなく、約30年位前に当時の名称「国立下総療養所」に賃金職員として勤務していました。さすがに駅の周りは、家やマンションが建ち、また飲食店が、そしてイオンが建ち、先日、引き継ぎで最寄りの鎌取駅に降りた際に思わず、「下車駅を間違えてしまった感」がありました。しかし病院は昔のまま、古い国立病院の面影を残したまま、長い渡り廊下、コンクリート張りの床タイルが懐かしい思いを引き出してくれました。私はこの地から検査技師としてスタートしました。

新しい環境と古い懐かしさを肌を感じながら、副技師長と主任の協力を得ながら毎日検査業務に励んでおります。当検査科は少人数ではありますが明るい検査科を目指しております。そしてコロナ禍ではありますが、千葉地区会の皆様とお会いして地区会活動ができることをお祈いいたします。どうぞ仲良くしてください。よろしくお祈いいたします。



国立がん研究センター東病院  
佐久間 智大

令和4年4月1日付けで国立がん研究センター東病院に新規採用になりました佐久間智大(さくまともひろ)と申します。出身は福島県郡山市です。今年の3月に茨城県の大学を卒業し、臨床検査技師になることができました。東病院では病理検査部の治験病理室に配属となりました。治験の病理検体を企業様に発送する業務に携わっています。慣れない業務に戸惑う日々ではありますが、丁寧に指導して下さる皆さんの戦力に1日でも早くになりたいと思っております。

趣味はラーメン屋巡りです。1度の食事で2杯食べ

## 地区会内異動者

ることもある程、ラーメンが大好きです。ジャンル別（醤油味、味噌味、塩味など）に至高の一杯をみつけて、私なりのラーメンリストを完成させることが目標です。現在はコロナ禍のため動画サイトやインターネットで行きたいお店を探すことしかできませんが、コロナが収束しましたら千葉の美味しいラーメンもたくさん食べていきたいと思っています。おすすめのお店などありましたら教えていただけると幸いです。

最後になりましたが、検査技師としても社会人としても未熟で至らない点も多くご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、今後とも精進してまいりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



**山崎 正明**  
下総精神医療センター  
技師長  
↓  
千葉医療センター技師長



**嶋田 浩幸**  
千葉東病院主任  
↓  
国府台病院 副技師長



**秋元 成美**  
千葉医療センター  
主任  
↓  
がん研究センター東病院  
副技師長

### 編集後記

新型コロナウイルスがなかなか終息せず、もどかしい日々を送っておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。皆様のご協力のおかげで無事今年度も地区会だよりを発行することが出来ました。お忙しい中、ご執筆して頂きました方々にこの場をお借りしまして、感謝申し上げます。 H.C

コロナ禍が続く中、皆様は如何お過ごしでしょうか。千葉地区会では、3度目となる「地区会だより 歓送迎号」を発行する運びとなりました。今回も、ご執筆頂きました皆様には、感謝を申し上げます。また、理事の皆様には表紙及び背景用に、様々な春の草花を撮影頂きました。ほんの一部ですが、本文中にてご紹介をさせて頂きました。まだまだ、収束の見えない状況ではありますが会員の皆様にお会いできる日を、心待ちにしております。 M.F